レッツ　チャレンジ！　西土佐っ子

西土佐小・中学校
２０２２年１０月２１日
文責　研究推進担当

朝夕は寒くなり、木々の葉が紅葉し始め、秋の訪れを感じるようになりました。学校では、運動会、体育祭、文化祭等が終わり、子どもたちは落ち着いて学習に取り組んだり、スポーツの秋、芸術の秋を楽しんだりしています。

１０月５日には、今年度2回目の西土佐小・中学校の公開授業研究会を開催し、アドバイザーや指導主事の先生方に、小学校2年生、3・4年生、中学校2年生の生活科・総合的な学習の時間の活動を見ていただきました。各学年、自分の思いをしっかりと発表する姿が見られました。

生活科・総合的な学習の時間の活動の様子より

小2：生活科「うごく うごく わたしのおもちゃ」

○動くおもちゃを作って、１年生が楽しめる遊び方を考えました。

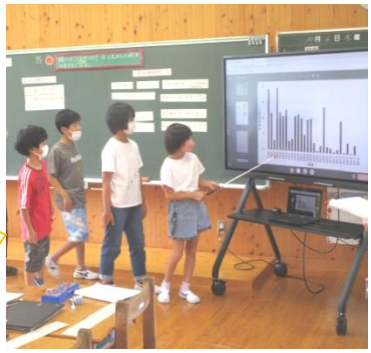
ぼくたちは、作ったおもちゃが、どこまで転ぶか競争したら、１年生が楽しく遊ぶと思いました。

おもちゃが転ぶ距離を比べるのはいいけど、ぼくのおもちゃを動かした時に、あまり遠くまでは転ばなかったから、１メートル２０センチメートルは転がらないと思います。

小3・4：総合「四万十川の現状について考えよう」

○昔の四万十川と今の四万十川について調べたことをもとに整理してまとめました。

このグラフを見ると、昔と比べて魚の獲れる量が減ってきていることが分かります。



…振り返りより…
みんなの資料を見ると、魚がすごく減っているなと思いました。それは、石が減っているからだと思います。自分たちにできるゴミ拾いをしたり、魚の棲みかを作ったりして、四万十川にいろいろな魚たちが棲める場所をいっぱい作りたいと思いました。

中２：総合「西土佐地域の魅力を多くの人に知ってもらおう」

○中村県立中、中村西中、フジグランで、西土佐の魅力についてまとめたことを発表してアンケートを取り、結果を基に自分たちの発表の効果や課題について考えました。

西土佐の魅力的な場所について写真を見せながら紹介することで、多くの人に西土佐に興味を持ってもらうことができた。

アンケートの内容をもっと具体的にして、自分たちが知りたいことを明確に分かるようにしたい。